

教養教育科目

講義科目

基本/OCR

授業科目名	日本の伝統文化と作法	科目コード	配当年次	単位
担当教員	浅野 明子	GA38	1	2

科目の概要

急速に進むグローバル化に伴い、異文化間コミュニケーションの重要性はますます高まっている。真のコミュニケーションとは、語学ができるだけでなく、自国や自分自身について、しっかりとした考えや知識を持ち、自分の言葉で話せることが大切となる。

本科目では、そのための教養力のひとつとして、日本固有の文化・作法・慣習について、日本人として知っておきたいポイントを幅広く学んでいく。

科目の到達目標

- ①日本の古典文学、伝統芸能、日本画、着物、神社・仏閣などに関する基本的なポイントを知り、自分の言葉で説明することができる。
- ②和室での振る舞い、和食の作法、節句・節気、美しく正しい日本語を学び、一目おかれる大人としての振る舞いができる。

テキスト 『入門 日本の伝統文化』日経BP社
『入門 和の作法』日経BP社

テキストの読み方

- ①自分の興味関心のある章から読んでもよい。読み方の順番は問わない。
- ②各ページに掲載されている写真や絵、その解説文は、理解を助けるものなので、よく目を通しておくこと。
- ③テーマごとに、外国人（もしくはそのテーマについて知識のない人）に対して、自分ならば、何をどのように説明したいかを考えながら読む。

単位修得の方法

レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。